

製品名: Dkk-1 ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab10003**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:100-1:300,ICC/IF 1:50-1:200,ELISA 1:5000-1:20000
分子量	29kDa

抗原情報

遺伝子名	DKK1
別名	DKK1; Dickkopf-related protein 1; Dickkopf-1; Dkk-1; hDkk-1; SK
遺伝子 ID	22943.0
SwissProt ID	O94907
免疫原	抗血清はヒト DKK1 の C 末端領域由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 181-230

背景

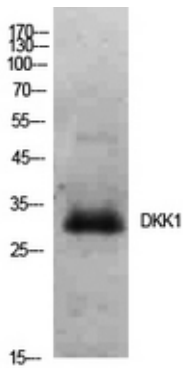
この遺伝子は、Dickkopf ファミリーに属するタンパク質をコードしています。これは 2 つのシステインリッチ領域を持つ分泌タンパ

ク質であり、WNTシグナル伝達経路の阻害を介して胚発生に関与しています。多発性骨髄腫患者における骨髄血漿および末梢血中のDKK1レベルの上昇は、骨溶解性骨病変の存在と関連しています。[RefSeq 提供、2008年7月]、機能: Wntシグナル伝達経路の阻害因子、類似性: Dickkopfファミリーに属する、組織特異性: 胎盤

研究分野

WNT;WNT-T細胞

画像データ



Dkk-1 ポリクローナル抗体を用いた HeLa 細胞のウェスタンブロット分析。二次抗体は 1:20000 に希釈されました。



パラフィン包埋ヒト脳の免疫組織化学分析、抗体は 1:100 に希釈された